

発行所 読売新聞大阪本社 〒530-8551 大阪市北区野崎町5-9 電話(06)6361-1111(代) www.yomiuri.co.jp

お泊まりデイ事故296件

10年度以降 転倒や誤嚥 26人死亡

主要74市区調査

通所介護施設

全国の政令市と県庁所在地、東京特別区の計74市区にある宿泊サービス付きの通所介護事業所(デイサービスセンター)「お泊まりデイ」で、宿泊時間中に起きた転倒や誤飲などの事故は2010年度以降少なくとも296件あり、26人が死亡していたことが読売新聞の調査でわかった。宿泊サービスは介護保険の適用外のため、施設側に事故の報告義務はなく、自主的な報告を求めている市区は3割にとどまる。実際の事故はさらに多いとみられ、全国に広がるサービスの実態を行政が把握できていない現状が浮き彫りになった。▲悪質運営も39面

52市区報告求めず

調査は昨年12月、20政令市と、政令市を除く県庁所在地の31市、東京23区にアンケートを送付して実施。すべてから回答を得た。

その結果、事故は10年4月以降296件あり、死亡事故は26件。死亡事故では、食べ物を気管に詰まらせる誤嚥による窒息が9件と最も多く、次いで、朝すでに亡くなっていたなど就寝中の体調急変が6件あった。夜間に認知症患者が消毒液を誤飲して死亡したケースや、徘徊して屋外で死亡していたケースもあった。

負傷事故では、トイレに行く際などに転倒・骨折した事例が目立ち、薬の誤投与、食中毒などもあった。ただ、多くの市区は「個人のプライバシー」を理由に事故の詳細を明らかにしておらず、死亡した26人のうち5人については一切説明が得られなかった。介護事業者は、厚生労働省令に基づき、事故が発生した場合に市町村に報告しなければならない。しかし、宿泊サービスは介護保険適用外のため報告義務はなく、対応は施設側の判断に任されているのが現状だ。施設側に自主的な報告を求めているのは、東京特別区を中心に、神奈川県3

死亡事故の例

2010年度	90歳代の女性が夜間出歩き、敷地内の庭で死亡した状態で見つかる(世田谷区)
12年7月	80歳代の男性が夕食時に食べ物を詰まらせ、窒息死(大阪市)
9月	70歳代の男性の病状が急変し、救急搬送後に死亡(足立区)
	85歳の女性が早朝、職員が起床の声かけをしたところ、既に死亡していた(練馬区)
13年3月	90歳代の認知症の男性が夜、洗面台の下にあった消毒液を誤飲し、死亡(相模原市)

お泊まりデイ 入浴や食事の提供、リハビリなど所定のサービスのほか、宿泊サービスも提供する。宿泊費と食事代を合わせて1泊2000円前後と低価格なところが多い。特別養護老人ホームなど入所施設不足などを背景に全国で増えており、全国の事業所3万7646か所(昨年9月時点)のうち3000か所前後と推計される。



うち5人については一切説明が得られなかった。介護事業者は、厚生労働省令に基づき、事故が発生した場合に市町村に報告しなければならない。しかし、宿泊サービスは介護保険適用外のため報告義務はなく、対応は施設側の判断に任されているのが現状だ。施設側に自主的な報告を求めているのは、東京特別区を中心に、神奈川県3市、大阪市など22市区にとどまり「求めていない」は52市区に上った。このうち19市は、お泊まりデイの数さえ把握していなかった。施設の夜間の職員数に関する国の基準はなく、1人だけの施設が大半とみられる。大阪市の担当者は「マンツーマンの介護をするのは不可能で、昼間でも目を離した際に事故は起きるが、人員が手薄な夜間はよりリスクが高まる」と話す。厚労省は15年度からお泊まりデイを都道府県への届け出制とし、事故についても報告させる方針を決めている。同省は「これまで夜間の事故の実態は把握していなかった」としている。白沢政和・桜美林大大学

院老年学研究科教授(社会福祉学)の話「介護保険の対象外とはいえ、事故報告を求めず、まして施設数すら把握していないのは問題だ。国や自治体は早急に事故情報を集めて分析する必要がある」

高速料金10円刻み

4月から消費増税に対応

東日本、西日本など高速道路会社6社は、4月の消費税増税に伴い、通行料金を50円刻みから10円刻みに変える方針を決めた。原則として、増税分を料金に上乗せし、1円単位を四捨五入する。例えば、5000円の区間は510円に、6000円は620円に、それぞれ値上げする。各社は月内にも料金案を公表し、意見公募(パブリックコメント)を行う。その上で、国土交通省に料金改定を申請、4月1日から新たな料金にする。



夜に浮かぶかやぶき屋根 白川郷

世界文化遺産に登録されている白川郷の合掌集落(岐阜県白川村)で18日、ライトアップが始まり、雪景色の中にかやぶき屋根が鮮やかに浮かび上がった。写真。薄暮から漆黒の夜に移りゆく午後5時30分、国指定重要文化財「和田家」など36棟が照明灯に照らされると、集まった観光客らは寒さを忘れて静かな光の演出に見入っていた。ライトアップは2月15日までの土、日曜(1月19日、2月8日を除く)の午後5時30分から7時。 (尾賀聡撮影)



よみほつと口躍版に
ウィークリークイズ

だ。国や自治体は早急に事故情報を集めて分析する必要がある」

みとする。1円単位は原則として四捨五入だが、一部地域では切り捨てとし、全体で増税分以上に増収とならないようにする。

高速を利用する車の約9割が搭載している自動料金収受システム(ETC)でも、料金は10円刻みとする。タクシーに乗る場合、高速料金と利用料金を合わせて支払うことになり、1円刻みだと小銭のやり取りが煩雑になるためだ。

50円刻みの料金は、1989年に消費税を導入した際に始めた。税率を5%に上げた時も変えず、下けたの24円以下は切り捨て、25〜74円は50円にし、75円以上は100円に切り上げている。

センター試験
問題と正解
21~25、
27~31面

新聞も、スマホも。
読売プレミアム
ニュースや
特典が満載
yomipre.jp

編集手帳

闇夜に浮かぶ大閘が突如炎上、染まったかと思音響とともに崩。実はこれ行の映像ショーエクシオンマッピング帰省した際初めて見たこと迫力に驚いた◆今